

オプションプログラム

電子薬歴支援システム「薬歴くん」

患者データの一元化

薬歴はもちろんのこと蓄積された患者データを一元管理することによりあらゆる角度から分析、評価することができます。

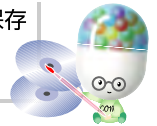
薬歴管理の効率化

・薬歴簿スペースの有効活用 ・薬歴簿検索時間の短縮 ・迷子薬歴の防止

ガイドライン準拠

・真正性対応：ユーザー ID、パスワードの入力必須、処理内容の記録により修正・削除履歴を保存
 ・保存性対応：外部媒体への出力機能
 ・見読性対応：紙薬歴をイメージした画面設計で処方歴・指導歴の表示領域を拡大

電子薬歴支援システム「薬歴くん」



基本画面

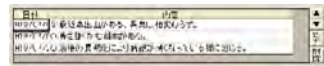
薬歴で最も重要な過去処方と指導内容を紙薬歴のイメージで大きく見やすい画面にしました。画面に表示させる項目を自由に、お好きな位置にカスタマイズすることができ、薬剤師さんごとのお好みにあわせて画面表示設計が可能です。そのほかの情報は必要な場面で確認いただけるようファンクションキーに割り当てられています。

過去の処方と比較して変更箇所が記号(「新」「追」「変」「更」「削」)で表示されますので、それぞれの変更箇所が簡単に識別できます。

患者さんの薬歴項目を表示させ、確認した項目について当日の日付けを記録したり、いつ確認したのかを一覧表示させることもできます。



処方サマリーとして、重要事項や継続的あるいは服用後一定期間をおいてから確認すべき事項などを特にピックアップしておくことができます。

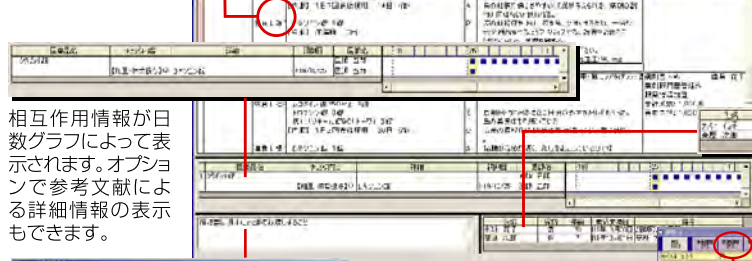


医薬品添付文書の内容が確認できます。

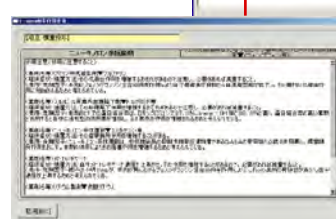


十文字情報

薬剤師さんがみて直感的に判断できるように指導用記号を表示します。

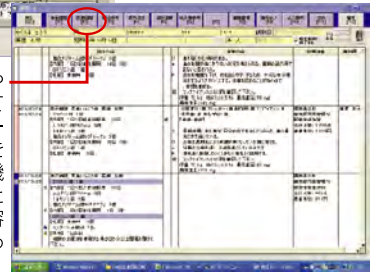


相互作用情報が日数グラフによって表示されます。オプションで参考文献による詳細情報の表示もできます。



家族情報が登録されていれば表示させることもでき、家族の方の薬歴も参照することも可能です。

複数の医療機関や診療科を受診している患者さんのデータでも、絞り込みを行うことで医療機関ごと・診療科ごとの処方や指導内容を容易に比較することができます。



※画面はi-data相互作用データベース(オプション)です。

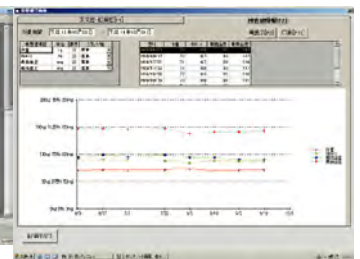
検査値情報

体重・血圧・検査値等の変化をグラフ形式で表示します。お薬手帳用としても印刷することができます。



患者画面ボタンを押すことにより患者さんの服薬状況が医療機関別、薬品別にカレンダー形式で参照できます。

薬歴太郎様	日付	体重	HbA1c	血糖値平均	収縮血圧
	H18-06-03	70	6.8	60	117
	H18-06-17	72	6.7	59	117
	H18-07-01	71	6.7	58	116
	H18-07-22	72	6.6	59	117
	H18-08-05	73	6.3	54	118



記録

2つの検索方法により素早的確なコメントを選択登録することができます。

医薬品からの検索では一般名ごとに集約されたコメント、グループからの検索では高血圧症、花粉症、ぜんそくなど患者さんの症状からコメントを選択できます。それぞれSOAPの視点からコメントを分類しています。

SOAP式薬歴

指導内容をSOAP形式で入力、表示できます。各プログラムごとにSOAPの記録を行うことができます。



らくらく読取くん(オプションシステム)を導入することにより処方せんでも薬歴作成のひとつとして利用することができます。両面をスキャンすることができるので、手書きで書かれたコメントもイメージとして保存できます。